

教育会だより

5

令和6年9月19日
公益社団法人諏訪教育会
会長 櫻井 洋

より深め、より開き、より据える ~前へ 私たちの未来に繋げて~ < 諏訪教育会 夏の研修旬間 >

今年度は、29の研修講座が開かれ活気あふれる充実した活動が行われました。各講座の成果等をお伝えします。なお、各講座の詳細につきましては、諏訪教育会 HP (<http://www.suwa-k.or.jp>) をご覧ください。

主催・共催 日時・場所	実施内容	成果と反省・【参加者の声】
教育博物館委員会 7月13日(土) 下諏訪町 八島ヶ原湿原 【参加者24名】 	【霧ヶ峰自然観察会】 ・霧ヶ峰の植物や鳥の観察 ・高層湿地について ・霧ヶ峰の地形や気象 ・旧御射山遺跡 講師:・自然調査研究部の先生方とそのOBの先生方 ・郷土調査部の先生方	今年度まで指導していただいた講師の先生2名が今年で引退となる。そのため、今回撮影した動画を元にしながら、来年度は新しい形での自然観察会を行っていく。【参加者の声】・とても良かったので、また来年も参加したいです。・駐車場が混んでいるので、朝早いですが、この時間でいいと思います。・歩く距離が長くて、少し疲れました。・少人数だったので、しっかり説明を聞いて観察ができて良かったです。・説明を短くして、観察を主体にしていけたら更によいと思う。
生活科委員会 7月31日(水) 丸井伊藤商店 【参加者13名】	館内見学、従業員の方の話 ・味噌造り施設見学、説明 ・味噌造り行程についてのVTR視聴 味噌造り体験 	味噌造りが初めてという参加者も多く、実際に体験するよい機会となった。体験しなければ分からないことも多いので、今後も体験を含んだ研修を行っていきたい。【参加者の声】店内に入ったとたん味噌のとてもよい香りがして、楽しく館内を見学させていただいた。歴史を感じさせる味噌樽や機械を見学し、子どもたちにもよい見学の場だと思った。また、従業員さんの説明とVTRの視聴により、味噌造りの工程を分かりやすく学ぶことができました。
体育・保健体育 委員会 7月25日(木) BEACH HOUSE 【参加者7名】	・小学校「表現」、小学校「運動会の表現」、中学校「ダンス」につながる基本。ヒップホップダンスの基本(ダウンのリズム、アップのリズムなど) ・振り付けを教えてもらって、繰り返し練習して覚え、2チーム分かれて発表を見合う。 	ダンスのプロの先生から直接教えていただけるまたとない機会となった。地域のダンススクールさんと学校が連携し、ダンスを通して児童生徒の育成ができそうである。【参加者の声】とても楽しくダンスを踊ることができます。結構難しいステップもあるのですが、決して否定的な言葉を使わない先生のご指導に、こちらの指導観を見直す良い機会を与えていただいています。学校にお呼びして、体育の授業や全校体育などの一コマをご指導いただければ、ますますダンスのよさが子どもたちに広まっていくような気がしました。

<p>教養委員会 7月26日(金) 諏訪教育会館 【参加者 12名】</p> 	<p>講師 鈴木清先生 (元 富士見町立富士見高原中学校長) ・「紙工作」講座 ・ペーパークラフト、切り紙、立体的なカードやモビールを制作 ・道具の使い方や折り目の付け方</p>	<p>【参加者の声】・毎年紙工作講座を楽しみにしています。来年は何を作ろうかと、またまた作る意欲が沸いてきました。鈴木先生、丁寧にご指導くださりありがとうございました。・久しぶりに参加させていただき、2時間集中して楽しい時間になりました。季節にちなんだ題材を選ぶことができ良かったです。次回又参加することがありましたら、もう少し動きのあるものが作れたらと思いました。</p>
<p>情報教育委員会 8月1日(木) 湖南小学校 【参加者 20名】</p>	<p>講師 梅木翼先先生 (一般社団法人たよなん) 夢のゲーム機を作ろうワークショップ 現役のゲームハード開発技術者の先生を講師に迎え、「売れるゲーム機」を考えた試作を行う。</p> 	<p>家族も参観可能にしたので多くの方々に参加いただいた。来年もこの方針を続け、多くの方に見ていただきたい。 【参加者の声】・子どもたちが自分で考えながら、ゲームを作り上げる姿が印象的でした。先生方ありがとうございました。・最初は知らない環境、人に緊張しているのがわかりましたが、最後の発表の頃には協力して1つの物を作り上げられたようで安心しました。使った作品に対して先生の目線からフィードバックしてもらおうのが、子どもにとって新鮮でよかったのではないかと思います。</p>
<p>図工美術委員会 7月27日(土) 諏訪教育会館 【参加者 48名】</p> 	<p>親子造形遊びワークショップ 「つんだりくんだり 白角棒」 ・児童を対象にした造形遊びワークショップ ・保護者の方への「材料をもとにした造形遊び」造形活動の周知と理解 ・教職員の造形遊びの研修</p> 	<p>参加者は児童も保護者もそれぞれ楽しみながら造形遊びを行っている様子が見られ、大変に充実した活動になった。今回はコロナ禍で実施できなかった白角棒を利用したワークショップを行った。角棒自体が大きめなのでダイナミックな造形遊びを行うことができた。 【保護者の声】こどもが思考をめぐらせて挑戦する姿、集中する姿、上手くいった時の笑顔、とても印象的でした。普段できない経験をさせてもらいありがとうございました。他の友だちの作品を手伝うこともできて、とても良い機会だと思いました。(保護者)</p>
<p>登山の菜委員会 7月31日(水) 八ヶ岳 硫黄岳 【参加者 21名】</p>	<p>初任者、諏訪へ初めて来た先生方、登山の経験がなく次年度登山学年になる先生方などを対象として登山研修会を実施し、登山の菜「八ヶ岳」を紹介しながら、八ヶ岳や登山の魅力を発信した。</p> 	<p>昨年度に引き続き、郡内だけでなく、郡外の先生方や一般の方にも参加していただき、諏訪教育会の取り組みを広く発信する機会になった。今回も郡内中学校からの参加者は1名のみであった。この研修会を学校登山の存続につなげるためにも、次年度登山学年になる先生方に多く参加してもらえるように、改めて実施時期や内容を検討したいが、学校登山の現状を考えると難しいところである。 【参加者の声】山をよく知っている方と一緒に登ることで、登山の知識や技術はもちろんのこと、動植物や地質などにも目を向けることができ、山の楽しみが広がりました。</p>

<p>福祉教育委員会 7月31日(水) 諏訪教育会館 【参加者20名】</p> 	<p>演題 「加齢に負けない、痛みのない身体へ」 加齢による、運動能力低下を予防し、よい姿勢から痛みのない身体作りをするにはどうしたらよいか、講演を行った。講演後は、より具体的にエクササイズを行うことで、より実感を伴った理解に結びつけた。</p>	<p>開催日の選定や、内容の精選に手間取ってしまい、皆様に声をかける時間が短くなってしまった。講師の先生が参加者の様子に合わせていただき、ありがたかった。【参加者の声】昨年と違ったポイントから身体のことやトレーニングについてうかがえて、面白かった。・高齢化社会が進んでも健康的な身体があることで、元気な活気のある地域につながる、と改めて感じました。</p>
<p>健康教育委員会 8月5日(月) 諏訪教育会館 【参加者】 第1部：23名 第2部：16名 第3部：24名</p> 	<p>第1部山田淳子先生(両小野中学校教頭) 今までの避難訓練を見直し、発災時に起こりうる事象(余震、停電、傷病者発生)を想定した訓練への改善、グループ演習。教員、子どもが命を守るためにどう行動するか考え続ける防災教育について。 第2部宇佐美智也様(防災士日本防災士会長野県支部事務局長)防災食の試食体験、防災グッズの紹介。能登半島地震における避難所の様子について。 第3部金子秀夫様(相澤病院救命救急センター救護・災害医療対策課課長) 事故、災害への対応の仕方(CSCATTT)、災害時に体系的に機能する組織体制、トリアージやファーストエイドについて。救急処置物品の実際。</p>	<p>【参加者の声】・普段の避難訓練がいかにも形ばかりのものであったか、を思い知らされる研修でした。まさに「うまくやろう」とするものであったことを痛感しました。9月の避難訓練で変えられることから変えていこうと思います。「子どもと一緒に考える」こと、教職員も子どもも「自分事」として災害をとらえられるよう、研修の工夫をしたいと思います。最後の演習、本当に難しいことを痛感！緊急時を想定することの難しさを感じると共に、だからこそ、みんなで考えることの大切さを学ばせていただきました。</p>
<p>家庭・技術家庭科委員会 fabスペースhana_re 8月8日(木) 【参加者11名】</p>	<p>講師 fabスペースhana_re 浜さん、中澤さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーザー加工機使用のための講習会 ・オリジナルボックス作り ・デジタル刺繍機使用のための講習会 ・オリジナル刺繍作り 	<p>【参加者の声】・レーザー加工機を使って、木材やアクリルの加工が簡単で精密にできると聞いていたが、思った以上に簡単に加工することができた。授業で活用できたら多くの生徒が関心を持つと思います。・授業の可能性が広がりました。これまで時間がかかっていた加工もレーザー加工機を使えば短時間で済み、創造力を引き出すことに時間をつかうことができそうです。・初めてレーザー加工機を使いましたが、初心者でも簡単に操作できるよう設計されていて感動しました。導入できるのであれば子どもたちが安全に利用できるかどうか確認して、授業で活用したいです。</p>
<p>幼年教育委員会 8月5日(月) 諏訪教育会館 【参加者21人】</p> 	<p>「見えるってなあに？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ることの概要 ・生活学習への影響 ・ビジョントレーニング体験 ・ビジョントレーニング法の紹介 	<p>見えることの理論をわかりやすく教えてもらい、「見る」ことの基本がよくわかった。眼球運動のチェック方法を教えてもらい実際に自分たちが体験することで、眼球の動きがよくわかったり、やり方がわかったりしてすぐに実践に結びつきそうであった。</p> <p>【参加者の声】ビジョントレーニングは知っていたが、実際に楽しく体験出来ました。視覚からの情報が80%あり、それを有効に使っていくために、楽しくトレーニングする方法をたくさん知ることが出来ありがたかった。</p>

<p>環境教育委員会 8月 1日(木) 城南小学校 【参加者10名】</p> 	<p>もみ殻焼き芋研修 ・もみ殻を燃料にした「燻炭器」による焼き芋実習 ・もみ殻の調達方法 ・使用後のもみ殻の処理 ・ビニール袋での個別食（和風スパゲティ）調理実習</p>	<p>諏訪市児童センターより燻炭器をお借りし、詳しい使い方を教えていただいたが、実際にもみ殻焼き芋をするのは、この研修会だったので、着火から芋を入れるまでの時間を確認することができた。【参加者の声】担任一人で焼き芋を企画するには、抵抗があったがこのような方法だったら、連学年の先生に声をかけて企画したいと思う。・燃料にお金がかからないのと、手に入りやすいのはとても魅力的。燻炭器も貸してもらえ先が分かっているのでやってみたいと思う。</p>
<p>英語委員会 7月26日(金) 諏訪教育会館 【参加者42名】 (含オンライン)</p>	<p>講師 西村秀之先生(玉川大学准教授) 実施内容 ・研究発表(諏訪市立上諏訪中学校 久保村 美公先生) ・講演会「外国語によるコミュニケーションを図る力をつけるために ～小中高が連携した授業づくり～」</p> 	<p>西村先生にご講演を依頼し、原点を見据えて連携していくことを確認できたことは、ありがたかった。講師選定に関しては、可及的速やかな決定と連絡に尽力していきたい。【参加者の声】西村先生の講演は、とても分かりやすく、これからの英語教育に携わる立場として必要感あるご講演でした。英語教育は言葉の学習であるということを常に忘れず、子どもたちの気づきを大切にする授業をつくっていきたい。そして、目の前の子どもたちがつまづいていたとしても、焦ることなく、長い目で根気よく子どもたちと向き合っていきたいと感じました。</p>
<p>教職員バスケットボール委員会 諏訪南中学校体育館 8月1日(木) 【参加者36名】</p>	<p>・審判担当の先生方のための審判講習(初心者向けを中心に) ・試合形式での実践講習</p> 	<p>大会当日、審判員を担当してくださる先生方を中心に、約半数の学校から参加いただけた。昨年までの夜遅い時間帯でなかったので、参加しやすさはあったと思われる。より多くの学校から参加いただけるよう、アナウンスを強化していきたい。また、初心者用コートを作って、より気軽に参加していただけるよう工夫していきたい。【参加者の声】実践講習で後ろに講師の先生がつきながら指導してくださったので、少しではあるが動き方を覚えることができた。また、実践講習後に審判の動きや判断の仕方についてもアドバイスもくださったので、とてもわかりやすく、不安が少し軽減できた。</p>
<p>諏訪子どもの本研究会 8月1日(木) 茅野市立永明小中学校メディアセンター 【参加者10名】</p>	<p>永明小中学校メディアセンター概要についての説明及び館内見学、質疑応答</p> 	<p>永明小中学校の新校舎が完成し、小中学生が一緒に多角的に学べる「メディアセンター」として新たにスタートした学校図書館の見学をさせていただいた。学校図書館に携わる先生方の関心が高く、ニーズに合った研修を行うことができた。一般の方も参加し、活動の公共性という面からも良かった。【参加者の声】ゼロから図書館を立ち上げるのは本当に大変なことだと思います。そこで働く人のため、学ぶ子ども達のためのことを考えて、粘り強く交渉してきたという裏話をたくさんお聞きできて良かったです。これから子ども達と一緒に、メディアセンターが育っていくのが楽しみです。</p>